

調査対象物質名	分析法フローチャート	備考
<p>[20] 2-(2H-1,2,3-ベンゾトリアゾール-2-イル)-4,6-ジ-tert-ブチルフェノール</p>	<p>【水質】</p> <p>水質試料 200mL → pH調整 0.6mol/L塩酸水溶液 pH2 → 塩析 塩化ナトリウム 6g</p> <p>振とう抽出 シクロヘキサン 30mL、10分間 × 2回 → 脱水 無水硫酸ナトリウム → 濃縮 ローターエバポレータ 2mLまで</p> <p>濃縮・転溶 メタノール 1.5mL 窒素パージ 0.5mLまで (2回目は0.2mLまで) ×2回 → LC/MS/MS-SRM-ESI-ポジティブ</p> <p>内標準物質添加 フタル酸ジエチル-d₄ 2ng</p> <p>「平成17年度化学物質分析法開発調査報告書」準拠</p>	<p>分析原理: LC/MS/MS-SRM-ESI-ポジティブ</p> <p>検出下限値: [水質] (pg/L) [20] 39</p> <p>分析条件: 機器 LC: Shimadzu LC-10AD MS: Applied Biosystems API4000 カラム Inertsil Ph-3 150mm×2.1mm、5μm</p>
	<p>【底質】</p> <p>底質試料 湿泥 (乾泥換算約10g) → アルカリ分解 1mol/L 水酸化ナトリウム/エタノール溶液 50mL 80、90分間</p> <p>振とう抽出 1回目: エタノール 50mL、エタノール/ヘキサンの(50:50) 20mL、蒸留水50mL、10分間 2回目: エタノール 50mL、蒸留水100mL、5分間 → 洗浄 精製水 50mL × 2回</p> <p>洗浄 アセトニトリル 10mL → 洗浄 精製水 100mL → 脱水 無水硫酸ナトリウム</p> <p>濃縮 ローターエバポレータ 窒素パージ 0.5mLまで → カラムクリーンアップ Sep-Pak NH₂ 溶出: エタノール 4mL → 濃縮 窒素パージ 0.5mLまで</p> <p>濃縮・転溶 メタノール 1.5mL 窒素パージ 1mLまで → 遠心分離 3,000rpm、5分間 → LC/MS/MS-SRM-ESI-ポジティブ</p> <p>内標準物質添加 フタル酸ジエチル-d₄ 10ng</p> <p>「平成17年度化学物質分析法開発調査報告書」準拠</p>	<p>分析原理: LC/MS/MS-SRM-ESI-ポジティブ</p> <p>検出下限値: [底質] (pg/g-dry) [20] 8</p> <p>分析条件: 機器 LC: Shimadzu LC-10AD MS: Applied Biosystems API4000 カラム Inertsil ODS-3 150mm×2.1mm、3μm</p>

調査対象物質名	分析法フローチャート	備考
<p>[20] 2-(2H-1,2,3-ベンゾトリアゾール-2-イル)-4,6-ジ-tert-ブチルフェノール</p>	<p>【生物】</p> <pre> graph TD A["生物試料 湿重量 10g"] --> B["アルカリ分解 1mol/L 水酸化カリウム溶液 50mL 80、90分間"] B --> C["希釈 10%塩化ナトリウム水溶液 500mL"] B --> D["振とう抽出 メタノール 80mL、10分間 ×2回"] C --> E["洗浄 精製水 300mL × 3回"] D --> E E --> F["洗浄 アセトニトリル 10mL"] E --> G["濃縮 ロータリーエバポレータ 1mLまで"] F --> G G --> H["カラムクリーンアップ Bond Elut NH₂ JR 溶出：メタノール 4mL"] H --> I["濃縮・転溶 メタノール 1.5mL 窒素バッチ 1mLまで"] I --> J["LC/MS/MS-SRM-ESI-ポジティブ"] </pre> <p>「平成17年度化学物質分析法開発調査報告書」準拠</p>	<p>分析原理：LC/MS/MS-SRM-ESI-ポジティブ</p> <p>検出下限値： [生物] (pg/g-wet) [20] 1.8</p> <p>分析条件： 機器 LC：Shimadzu LC-10AD MS：Applied Biosystems API4000</p> <p>カラム I-column ODS 150mm×2.1mm、5μm</p>